

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

蒜山

日付 平成 20年 3月 31日
特定非営利活動法人

評価機関名

ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 在宅介護経験15年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

残雪が山や畑に残る丘の上に、同じ法人が経営する特養の傍に立っているホーム。訪問すると午前のティータイムが一段落すると、二人の男性利用者は一人の職員と一緒に食材の買出しに出かけていった。自分達で食材の買物に出かけるのも大切な役割になっているのだろう。残った利用者たちは輪投げゲームをやって、一人ずつ投げた得点計算を利用者が行っている。身体を動かす事に加えて、脳のトレーニングもあわせてやっているのだ。その後、音楽に合わせてリハビリ体操をして、身体のリフレッシュをすることが、その日の午前中のメニューである。食事作りにも調理ができる利用者で手伝いをしていた。

利用者たちの殆どがこの蒜山地域やその近隣地域の人々だという。ホームが開設してようやく丸一年であるが、利用者達の顔つきには落ち着きを感じられるのは、利用者同士が馴染みがあると同時に職員も同じ地域の人が多いという連帯感や共通の話題が多いところではないかと思われる。一人ひとりの個性や心身状態に合わせた対応をしており、自然な言葉で話しかけたり、スキンシップをしている。特養やグループホームに加えて身体障害施設等を多角的に展開する母体の法人の介護力のペースもあって、その特養からきた管理者を中心に介護に向き合う基本姿勢が徹底している事が伺える。昼食後の、歯磨き・うがいも利用者が自然に立ち上がって洗面台へ向かう姿が見受けられた。口腔ケアは開設当初から大切にしているようだ。

ご息も手を焼いていた陸軍中野学校出身の頑迷で粗暴な利用者が、ここに来て職員達の暖かい関わりによって温和になり、掃除や大作業を率先してするようになり、仲間と一緒に生活ができるようになり、人間味を深められたことは、グループホームの職員の暖かい心遣いに接し、利用者同士の仲間意識が高められた結果だと思う。このように人間性回復のできるのが、グループホームの特長である。職員達の自信になりつつあると管理者は話してくれた。

特に改善の余地があると思われる点

開設一年目の実践で、着実なスタートを切った印象が感じられる。全体としてはまだ利用者たちの心身状態も軽度の人達が多いので、認知症ケアの研修などを今のうちから深めておいてもらいたい。また、ホーム通信も手がけており、年2回「にこにこ通信」を発行しているが、職員全員で通信作成を分担して月例発行を目指し、家族や運営推進会議参加者・町内会・行政などへ情報発信をしてもらいたいものである。

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 1 | 理念の具体化、実現及び共有 | | |
| 記述項目 | グループホームとしてめざしているものは何か | | |
| 記述回答 | <p>1、自主評価について…：掲示されている理念は「あなたらしい生活を温かい介護でサポートします」と書かれている。みんなで討議して、先日決まったばかりだそうだ。その決定過程に意義があるといえよう。</p> <p>2、全体的に見て…：目指す施設像として“自分らしい生活”“いつも清潔”“美味しい食事”など9項目を掲げて、それらを折々のテーマに設定して介助に当るよう確認しているそうだ。抽象的なスローガンだけでなく、こうした具体的な課題を一つ一つ取り組んでゆくことが、ホーム作りをしてゆく上で大切なことだろう。今後のこのホームの展開が楽しみである。</p> | | |

II 生活空間づくり

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 2 | 家庭的な共用空間作り | | |
| 3 | 入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり | | |
| 4 | 建物の外回りや空間の活用 | | |
| 5 | 場所間違い等の防止策 | | |
| 記述項目 | 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か | | |
| 記述回答 | <p>1、自主評価について…：木材の香りが漂うような、わかりやすい空間配置の設計になっているので落ち着き感がある。出来たばかりなので大きな改善事項はない。ひとつずつ気の付く所から少しずつ改良していけば良い。</p> <p>2、全体的に見て…：2ヶ所に大きな洗面台があって、手洗いや洗顔・口腔ケアにすぐ使えるようになっているのが良い。食卓は2つに別れていて、食事のときは座る場所はそれとなく決まっているようだ。リビングの南面のサイドにはソファーが囲むように配置しており、その場でテレビを楽しんだり、本や新聞を読む人がいる。広いリビングの中で、それぞれが自分の居場所をもてるようになっている。各自の部屋の入り口には、自分の好みの模様と色の暖簾（一人の利用者の家族が持ってきたのが、他の家族にも広がったという）が掛けてあり、リビングの雰囲気は暖かくし、自分の部屋の個性をつくっている。神棚があるのも嬉しい。</p> | | |

III ケアサービス

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|---------------------------|-------|-----|
| 6 | 介護計画への入居者・家族の意見の反映 | | |
| 7 | 個別の記録 | | |
| 8 | 確実な申し送り・情報伝達 | | |
| 9 | チームケアのための会議 | | |
| 10 | 入居者一人ひとりの尊重 | | |
| 11 | 職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ | | |
| 12 | 入居者のペースの尊重 | | |
| 13 | 入居者の自己決定や希望の表出への支援 | | |
| 14 | 一人でできることへの配慮 | | |
| 15 | 入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫 | | |
| 16 | 食事を楽しむことのできる支援 | | |
| 17 | 排泄パターンに応じた個別の排泄支援 | | |

III ケアサービス(つづき)

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 18 | 排泄時の不安や羞恥心等への配慮 | | |
| 19 | 入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援 | | |
| 20 | プライドを大切にした整容の支援 | | |
| 21 | 安眠の支援 | | |
| 22 | 金銭管理と買い物の支援 | | |
| 23 | 認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保 | | |
| 24 | 身体機能の維持 | | |
| 25 | トラブルへの対応 | | |
| 26 | 口腔内の清潔保持 | | |
| 27 | 身体状態の変化や異常の早期発見・対応 | | |
| 28 | 服薬の支援 | | |
| 29 | ホームに閉じこもらない生活の支援 | | |
| 30 | 家族の訪問支援 | | |
| 記述項目 | 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か | | |
| 記述回答 | <p>1、自主評価について…：利用者個々の心身の状態をよく把握して、その人らしさを失わないよう支援している姿勢が職員全体から伝わってくる。個々で改良していく点はあるが、日々の業務の中で良くしていく努力を重ねていこうとしている。</p> <p>2、全体的に見て…：在宅で過ごしていた人が、無表情で頑固な人が、デイサービスに行っても協調性はなく、ホームに入所した。9人のホームの仲間と一緒に過ごし、職員の心やさしい心遣いなどのケアの結果、利用者と和むことができるようになり、裁縫したり、外の土手を開こんで畑を作ったりして、周りの人とも交流できるようになった。孤独から開放され、仲間の良さが分かって、人間味を増したという事例が生まれた。これがグループホームの良さである。</p> <p>また、隣接する同一法人の特養とも連携して毎月事故予防委員会を開催したり、感染予防・身体拘束廃止委員会や感染予防委員会に参加して介護の質向上に取り組んでいる。近々、看取り委員会も立ち上げるといふ。</p> | | |

IV 運営体制

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 31 | 責任者の協働と職員の意見の反映 | | |
| 32 | 災害対策 | | |
| 33 | 家族の意見や要望を引き出す働きかけ | | |
| 34 | 家族への日常の様子に関する情報提供 | | |
| 35 | 運営推進会議を活かした取組 | | |
| 36 | 地域との連携と交流促進 | | |
| 37 | ホーム機能の地域への還元 | | |
| 記述項目 | サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か | | |
| 記述回答 | <p>1、自主評価について…：改善項目はない。母体法人の指導による基本研修を踏まえて、手堅く開設1年目の基礎固めを仕上げた印象である。</p> <p>2、全体的に見て…：利用者の夫々の個性と水準維持に努めながら、理念に掲げた「その人らしい生活」の実現を職員のチームケアで進めて欲しいと期待する。そして、この地域になくはない高齢者ケアの相談センター的な役割を果たして欲しいものである。</p> <p>マネージメントレビューとして“ISO9001”への取り組み準備中とあった。法人全体の取り組みの中で、グループホームもこの目標に取り組んでいく姿勢を見守ってきたい。</p> | | |